

実際寺本堂、客殿、鐘楼、納屋、山門、外塀及び石垣



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	じっさいじほんどう、きやくでん、しょうろう、なや、さんもん、そとべいおよびいしがき
所在地	倉敷市中島字村内北町
登録年月日	令和1年12月5日
解説	<p>市街西方の旧中島村中心部にある真言宗寺院で、石垣で築いた方形の寺地に諸堂が建ち並ぶ。</p> <p>本堂は慶安2(1649)年の建立で、境内中央に東面して建つ、木造平屋建てである。柱の面取りは大きく、木鼻や実肘木の渦の彫りが浅く、線が細い等、江戸時代前期の特徴を見せる。</p> <p>本堂の北東に立つ客殿は、木造平屋建てで、江戸時代末期の建築と考えられる。</p> <p>境内の南寄り、本堂の南東側に位置する鐘楼は、棟札から明治12(1879)年に建築されたことが明らかで、大正15(1926)年の修理に際して境内西の墓地から現在地に移築されたものである。</p> <p>明治17(1884)年頃の建設と伝わる納屋は、境内南東の敷地境に、山門と並び建つ。</p> <p>境内の南東側に南面して建つ山門は、本柱2本を正面に立て、奥に控柱2本を備えた薬医門である。棟札から明治17年に移築されたと分かる。</p> <p>境内の東辺及び北辺の道路境には外塀及び石垣が巡り、境内の外周を整える。</p>
アクセス方法	JR西阿知駅より徒歩約15分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	実際寺本堂、客殿、鐘楼、納屋、山門、外 塀及び石垣
よみかた	じっさいじほんどう、きやくでん、しょうろう、 なや、さんもん、そとべいおよびいしがき
しょざいち (所在地)	倉敷市中島字村内北町
とうろくしたひ (登録した日)	令和1年12月5日
せつめい	倉敷市街地の西方(せいほう)に建つ寺院 です。石垣で区画した四角い寺地には、江 戸時代前期の特徴をもつ本堂などの建物 が立ち並びます。